

朝の館内放送

令和元年 12 月 2 日

みなさん、おはようございます。

市長の中村健です。

ここ最近、行政の各種活動を支えていただいている市民の方々について、表彰を受けての喜びの声を聞く機会や、任命・委嘱をする機会、あるいは関係する会議に出席させていただく機会が多くありました。

具体的には、選挙管理委員会や明るい選挙推進協議会、統計調査員、民生委員や児童委員、保護司や更生保護女性会などです。

これらの他にも、特定の役職を受けていただいている多くの市民がいらっしゃいます。

人間関係が希薄化し、地域コミュニティの力が落ち、心や時間に余裕がない生活を送っている人が増えている今日においては、行政だけで社会的な課題を解決することはますます困難になってきており、こうした方々の善意や協力は欠かせません。

そして、気持ちよく活動をしていただくために我々ができることは、敬意や感謝の気持ちをしっかり言葉に表すことだと思います。

会議の場や窓口などでお会いした際には、

「いつもありがとうございます。」

「よろしく願います。」

「今日はありがとうございました。」

など、心を込めて相手に直接伝えたいものです。

コミュニケーションにおいては、挨拶が大事だとよく言われます。

市民の方と、あるいは職員同士ですれ違う時に、

「おはようございます。」

「こんにちは。」

「お疲れ様です。」

などの一言については、それを実践できている職員も増えてきているように感じます。

それに加え、先ほど申し上げたようなことも自然に言えるようになれば、より強固な関係を築きながら仕事ができるようになるはずです。

年度当初の朝礼で、職員のみなさんにお伝えした3Sと3Cは、スリム、スマート、スピーディ、チェンジ、チャレンジ、コミュニケーションです。

そして、コミュニケーションは、全ての仕事の土台となって機能するものです。

真の市民協働を実現すべく、日頃から行政活動を支えていただいている方々に対しても、積極的な挨拶や声かけをよろしくお願いします。